

玉山夏まつりで大学生が ダブルダッチを披露

8月5日(土)、浜民運動公園野球場を会場に、第28回玉山夏まつり(同実行委員会主催)が開催されました。

ステージでは、地域のイベントなどにも積極的に出張している岩手県立大学の学生サークル「ROPE A DOPE」がダブルダッチパフォーマンスを披露。会場の子供たちを巻き込んで会場を盛り上げました。



**中学生×社会人
「未来パスポート」開催！**

インターンシップ（就業体験）の大学生が取材しました。

8月23日(水)、市立見前南中学校でNPO法人未来図書館が主催する「未来パスポート」が開催されました。これは社会人講師が自らの仕事や人生の話を通じて生徒と触れ合い、子どもたちが自分の未来について考えるためのキャリア教育プログラム。「大人に成長するために将来について考えていかなければならない」152人の2年生は真剣に講師の話に耳を傾け、それぞれに自分の未来を思い描いていました。



**一般社団法人生命保険協会 2017年度
「元気シニア応援団体に対する助成活動」**

地域社会で高齢者を対象にした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくりなどの活動に取り組んでいる民間非営利の団体等に助成を行います。

高齢者が健やかで心豊かに生活できる地域社会の環境整備に寄与し、地域福祉の一層の推進を図るものです。

◇ 助成対象となる団体

高齢者を対象にした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくり等の活動を行っている民間非営利の団体等で、所定の要件（「申請時点で1年以上の活動実績を有し継続して運営している」等）を満たす団体

◇ 助成対象となる活動

構成員だけでなく、地域の高齢者を対象とした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくり等の活動（従来からの継続活動でも新規活動でも構いません）

◎ 対象となる活動例

- ・身体向上活動（虚弱化予防のための健康体操やウォーキング等）

- ・自立支援活動（外出支援による閉じこもり防止対策、配食による栄養改善等）

・交流活動（交流サロンでの同世代・他世代とのコミュニケーションによる心身の健康確保等）など

◇ 助成金額

1団体あたり上限額12万円（助成総額最大500万円）

◇ 申込受付期間

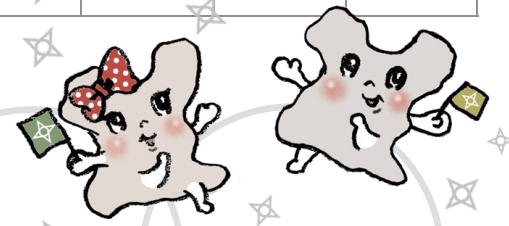
2017年9月30日（土）＜当日消印有効＞

◇ 問い合わせ

生命保険協会広報部内「元気シニア応援活動」事務局 〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目4-1 新国際ビル3階

電話：03-3286-2643 ファクス：03-3286-2730

ホームページ : <http://www.seiho.or.jp/>

[illegible]

発行：盛岡市市民部市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2

TEL : 019-626-7535 (直通)

E-mail : kyodo@city.morioka.iwate.jp

(平成29年9月発行)



肴町を彩る 盛岡七夕まつり

昭和初期に商店街ぐるみで始められた肴町商店街の夏の風物詩「七夕まつり」。今年も8月4日から7日までの4日間にわたって開催されました。町家ごとに笹竹を軒先にたてた素朴な飾りで道路にたれることはなかった明治時代。『盛岡市史』に「昭和戦後は市中の店舗豪華を競う」と記されているように、賑わいの演出やお客さまへの感謝の心が反映され、今年は企業や商店のほか、プロスポーツ選手や学校、昨年の台風災害に見舞われた岩泉町を応援する飾りなど90本が肴町を彩りました。

もりねこ
×
保健所

もりおかニャンとも 幸せプロジェクト



8月12日に、クロスステラス盛岡（大通三）ではじめて開かれた盛岡市保健所が保護した猫の譲渡会では、行き交う人が足を止め、猫と触れ合ったり、保健所職員から説明を受けたりしていました。

「もりおかニャンとも幸せプロジェクト」。これは、29年度公募型協働推進事業の採択を受けて、特定非営利活動法人もりねこ（工藤幸枝代表）と盛岡市保健所が協働で取り組んでいるプロジェクト。この一環として、8月9日から13日までクロスステラス盛岡を会場に「もりねこ写真展」が開かれ、11日には特別講演会、12日には保護猫の譲渡会が行われました。

保護猫の殺処分を減らし、命をつなぎたい

このプロジェクトの目指すところは、市保健所が保護した猫の殺処分頭数を減らすこと。これまで保護猫を増やさないために、地域と一体となって野良猫の不妊手術を支援するなどの取組を進めてきましたが、保護猫の命を少しでも多く助けるため、猫を保健所が保護してから新しい飼い主に譲渡するまでの期間、保護猫を一時的に自宅で預かるボランティアを募るとともに、ボランティアを支援する取組を行っています。

11日には保健所獣医師による特別講演会も

写真展にあわせて11日には市保健所の岩崎ささ子主任獣医師が講演。岩崎主任獣医師は「健康状態など譲渡に適さない場合もあり、殺処分頭数0という数字にこだわるものではない」としながらも、「ここ数年、市民の動物愛護に対する意識が高くなり、これまでは命を繋ぐことをあきらめていたようなハンディを背負った猫の譲渡も進むようになった。さらに命をつなぐために、この協働事業のことをたくさんの人に知っていただき、それぞれができる支援をお願いしたい」と呼び掛けました。



「NPO法人もりねこ」とは

野良猫や捨て猫、飼育放棄された猫の保護と保護された猫を希望者に譲渡する活動を行うNPO法人団体。2014年から「猫カフェ」を菜園で運営しているほか、猫の適正飼育などの啓発に取組み、人と猫が共存して暮らすことができる地域社会の実現を目指しています。【連絡先】019-613-7773 <http://npomorineko.wixsite.com/morineko>

公募型協働 推進事業

平成29年度の公募型協働推進事業の二次募集で下表の事業が採択されました。

事業名	実施団体 （協働担当課）	概要	採択 補助額
体験型謎解きゲーム「鉦屋町キネマきたん奇譚」再演プロジェクト	羅針盤計画	盛岡町屋の魅力を参加者や地域住民に再発見してもらうため、旧藤原家町家（鉦屋町）を活用し、「したまち小劇場祭2017」の一環として開催された体験型謎解きゲーム「鉦屋町奇譚」を再演する。	100,000円
井堂雅夫 版画展開催計画	鉦屋町町内会（文化国際室）	町家と平成の名水が2カ所ある鉦屋町を広くPRするとともに、井堂雅夫版画展を活用して、当施設を有効に活用するため、鉦屋町「大慈清水御休み処」で井堂雅夫版画展を開催する。	34,400円
歴史を活かしたまちづくり事業	特定非営利活動法人盛岡まち並み塾（道路建設課）	まち（鉦屋町界限）の活性化に繋がる将来像について、地域住民とともにワークショップを実施し、方向性を見出す。	280,000円
太田古代の里わいわいにぎわい創出事業	太田地区自治会協議会（歴史文化課）	国史跡志和城跡・志和城古代公園を活用し、地域の活性化を図るため志和城冬まつり、門前にぎわい市、太田特産品メニュー開発などを行う。	45,600円 （※）
もりおかマチ歩きMAPプロジェクト事業	MORI OKA 5 STAR（経済企画課）	市民とMORI OKA 5 STAR 5店舗の担当者、地域おこし協力隊などの市の担当でワークショップを実施。盛岡の一個人が抱くマチでの気づき、マチへの思いを表現したマップを製作する。	500,000円
永井地区地域防災マップ製作事業	特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21（危機管理防災課）	平成25年8月の集中豪雨の際に永井地区においても多数の家屋が床下・床上浸水していることから、勉強会やワークショップを行い永井地区の防災マップを作成する。	440,000円
心と身体をつなぐゆるヨガ教室	パドマヨガ・スクール（危機管理防災課）	内陸避難者の心身ケアを図るとともに、避難者同士の交流、避難者の生活意欲の向上、一般市民との交流を促すためヨガ教室、ヨガ&薬膳料理教室のワークショップを開催する。	454,000円
盛岡市中高生の未来可能性創出事業	ドリーム・シード・プロジェクト会（子ども青少年課）	中学・高校生が、自らの夢やビジネスプランを発表し、大人と交流する機会を得ることで、岩手・盛岡で生き続けることに夢や希望を持つことができるよう、プレゼン大会やセミナーを実施する。	500,000円
面会交流支援モデル事業	もりおか面会交流サポート・ブランコの会（子ども青少年課）	離婚や別居など親の紛争により一方の親との暮らしを分断された子どものための面会交流がスムーズに行われるよう、面会交流支援活動のモデル事業を実施する。	277,600円
カナダをもっと身近に！ホストタウン交流推進プロジェクト	岩手県日本・カナダ協会（スポーツツーリズム推進室）	市民がカナダを身近に感じられるイベント等の事業を実施し、市民の国際理解の浸透とカナダとの友好親善の促進を図るため、ホストタウンの理解を深めるトークイベントの開催などを行う。	390,400円
みんなで育む地域づくりプロジェクト	もりおかNPO連絡協議会（市民協働推進課）	町内会・自治会が自ら環境の変化に対応した運営が行えるよう、NPOサイドから有用な知見の提供や活動に関する助言等を支援する仕組みを構築することを目的に、町内会・自治会の運営実態、サポートニーズ等の把握と分析を行う。	370,833円

（※）採択順位により採択補助額は補助申請額から減額されています。